

# 学校図書館支援センター通信 NO.104 10月号

平成28年度 市川市学校図書館支援センター（市川市教育センター）

## 文部科学省委託研究校 学校図書館活用公開授業研究会

朝夕にさわやかな風が吹き、校庭の木々も秋の装いとなってきました。「スポーツの秋」「食欲の秋」「芸術の秋」そして、「読書の秋」ですね。読書推進運動協議会が主催する今年の読書週間（10月27日から11月9日）の標語は、「いざ、読書。」です。「読書の秋」に先駆けて、文部科学省委託研究協力校である、第四中学校と第七中学校で学校図書館活用公開授業研究会が行われました。両校とも授業の中で学校図書館を有効に活用していました。



【9月27日（火） 市川市立第四中学校】学校司書 中島 葉子

1年生 理科「物質のすがた 有機物と無機物（プラスチックの分類）」授業者 長崎 誠 教諭

授業は2時間展開で行われました。前半は、図書を使って5種類のプラスチックの特徴について調べ、見分けるための実験方法を考えました。調べる前に、情報カードの書き方や引用について学校司書が再確認することで、生徒はスムーズに調べ学習に取り組んでいました。後半は、グループごとに自分たちで考えた方法で実験をしました。生徒からは、見た目で判断する、折り曲げる、水につける、燃やす、落とすなどの様々な実験方法が出されました。



今回使用した情報カードは、今後も他教科の調べ学習で使用し、学校全体で調べ方やまとめ方の力を身に付けていくそうです。

【9月29日（木） 市川市立第七中学校】学校司書 高桑 弥須子  
2年生 理科「動物の生活と生物の進化」授業者 倉持 一幸 教諭

「生命を維持するはたらき」「行動のしくみ」の導入として、6グループに分かれ、人間の臓器や器官について図書を活用し、調べ学習を行いました。模造紙に、調べたことを黒、自分の考えや意見を赤と統一して書くことで、聞き手によく分かるようにまとめていました。

2年生 英語「有名人を紹介しよう」授業者 桂林 典子 教諭

有名人について、人物の特徴（職業、出身、エピソード）について図書資料を利用して調べ、英語科教諭とALTとのインタビューをモデルとして、生徒同士が英語でインタビューを行いました。学習のねらいを明確にした授業でした。

2年生 社会「日本の諸地域」授業者 岡本 玲央 教諭

日本を8つの地方に分け、それぞれ自然、生活・文化、産業、他地域との結び付き、歴史的背景、人口・都市と村落、環境問題・環境保全の7つのテーマから各自が選択し、図書を活用して調べ学習を行いました。

どの教科においても、必要な図書資料や学習の進め方について学校司書と綿密に話し合い、実践していました。12月1日（木）には、市川市立塩焼小学校で学校図書館活用公開授業研究会を予定しています。



## 図書館の窓から ~ひろげよう！図書館の輪・リレー執筆~



昨年度作成した巨大本

図書委員会では、鶴翔祭に展示するため「巨大本」の作成が始まりました。今年度は、「おすすめの一冊」と「本の中の心に残った言葉・名言」をテーマに大きな本にします。生徒の皆さんには、イラストを添えて、おすすめの本の紹介カードを書いてもらいました。各自の読書を振り返るよいきっかけとなっているのではないのでしょうか。また、「心に残った言葉・名言」を紹介してもらうアンケートもとりました。自分を励ましてくれる言葉や、新しいことに気づかせてくれる言葉が紹介されています。この取組を通して、改めて、生徒の心に残った本との出会いをサポートしていきたいと感じました。

（市川市立大洲中学校 学校司書 川上 節子）



おすすめの1冊を書いたカード

## ご存じですか？ わいわい文庫 ~マルチメディア DAISY 図書~

平成28年4月より、障害を理由とする差別の解消の推進に関する法律が施行しました。この法律によって、学校図書館においても合理的配慮を考えた環境整備を整える必要があります。このことについては、8月2日の第2回学校図書館研修会・ネットワーク会議で、専修大学教授 野口武悟先生は、「合理的配慮を提供できる学校図書館になるよう、できることから始めましょう。」との話がありました。また、講演会の中では、通常の本を読むことが困難な人に対して、合理的配慮を考えた教材や図書を紹介してくださいました。その中の一つが、「わいわい文庫~マルチメディア DAISY 図書~」です。これは、公益財団法人伊藤忠記念財団が製作した視覚障害や印刷物を読むことが困難な人のために開発された電子図書です。

<マルチメディア DAISY の特徴>

- 文章を読み上げる音声を聞きながら、画面上で絵や写真を見ることができます。
- 音声で読み上げているフレーズの色が変わる（ハイライト機能）ので、どこを読んでいるのかが一目でわかります。
- 自分が読みやすいように、文字の大きさ、音声のスピード、文字や背景の色を選ぶことができます。

（引用：公益財団法人伊藤忠記念財団 マルチメディア DAISY 図書 わいわい文庫活用術④）



2016年度版を公益財団法人伊藤忠記念財団より寄贈していただきました。白色のCD（吉四六さん、こまったさんのスパゲティ、スーホの白い馬など）は、障害があるために通常の本では読書が困難な方のみ使用可能です。青色のCD（ももたろう、わらしべ長者、動物園に行こう！どうぶつレストランなど）は、どなたでもご使用になれます。興味のある方や活用してみたい方は、教育センターにありますので問い合わせください。

『学校図書館支援センター通信』は、市川市教育センターホームページでもご覧いただけます。  
市川市学校図書館支援センター（市川市教育センター）  
〒272-0015 千葉県市川市鬼高1-1-4  
TEL 047-320-3335 FAX 047-320-3352  
<http://www.ichikawa-school.ed.jp/index.html>

